

中部空手道選手権大会開催に寄せて

4年ぶりとなる「中部空手道選手権大会」は、コロナ禍以降で初の参加資格の制限がない大会となります。勇気を持ってエントリーをしてくださった1800名以上の参加選手が、より多くの学びを得て、充実した一日となるよう最大限の運営を心掛けることを皆様にお約束いたします。

さて、選手の中には試合が好きだという人も、嫌いだという人もいるかと思いますが。試合にかかわらず好き嫌いの全くない人はなかなかいないでしょう。しかし、好き嫌いがあっても「好きになるための努力」によって好きなことを増やすことは、人生を豊かに過ごす上でとても重要なことだと思います。

また、「好き」を肯定し、伸ばすことの重要性と同じだけ、「嫌いなこと」⇔「うまくいかない・こわい・苦しい・悔しいこと」に対しても勇気をもって向き合う努力ができるように導くことも空手道場の役割と考えています。

この本番は、人生の練習です。

人はいつからでも気持ち次第で変わることができる。私はそう信じています。参加選手の皆さんが己に克ち、自分を超越することで、清々しい内面の変化に気付くことができる。この大会を通じて私も、そんな瞬間に多く立ち合いたいと願っています。

選手の皆さんが教わった「空手道」を深く考えて、今日一日を精一杯頑張ってください。

日本空手道不動会
運営理事長 平野泰斗